

令和5年度第2回大阪府河川水辺の賑わいづくり審議会 議事要旨

日時 : 令和6年3月7日(木) 17:00から18:30まで  
場所 : 西大阪治水事務所 1階 AB会議室  
出席者 : 委員) 橋爪会長・荒木委員・伊丹委員・嘉名委員・山上委員・高野委員 計6名  
まとめ :

【議題】(1) 会長の選任等について

- ・委員の互選により橋爪委員が会長に選任された。また、橋爪会長は会長代理に嘉名委員を指名した。

(2) 審議事項

①水辺の賑わい創出事業者の事業評価について(箕面川床)

- ・審議の結果、当該事業の継続は妥当。

②都市・地域再生等利用区域の変更について(狭山池)

- ・審議の結果、区域の変更は妥当。

【報告】安治川右岸(船津橋下流)の現状報告について

- ・今後の事業の安定性を踏まえた事業計画の見直しについて報告。

概要 : [ 以下、○委員 ●事務局 ]

【審議事項】

① 水辺の賑わい創出事業者の事業評価について(箕面川床)

○川床周辺は土砂災害特別警戒区域に指定されている。地震時の安全対策を教えてください。

●施設倒壊の可能性がある場合は、最寄りの避難所など安全な場所へ避難することとなっている。備品の準備や利用客への声かけなど細かな運用については、各事業者のマニュアルに定めている。

○土砂災害が起こると、避難ルートが断たれる場合もあるので、その対策も検討が必要。

○箕面川床は長い期間事業を実施しているが、施設の老朽化対策は実施しているのか。

●毎年、建築士による点検をシーズン開始前に実施し、安全上問題ない旨を確認している。

○これからはメンテナンスが必要な部分も出てくると思うので、安全に施設を運営するよう留意していただきたい。

○安全面に加え、外観の観点でもメンテナンスをしていただければ。

○箕面川床協議会ではどのような意見交換を行っているのか。箕面市は山好きにも愛される場所であるが、協議会に参画する山麓保全委員会との意見交換の内容についても教えてください。

●協議会では、川床の運営やPR、事業者の公募の手法について、意見交換を行っている。山麓保全委員会からは、箕面公園周辺での活動状況等について情報を共有いただいている。

○山好きにも愛されるような川床になるのが望ましい。また、箕面観光ホテルも観光資源の一つなので、今後の連携を期待したい。

○安全面に関して説明があったが、避難訓練等は実施しているのか。

●二つの事業者のうち、一つの事業者は訓練を行っている。もう一つの事業者については、今後、訓練を行うよう指導していきたい。

○災害時は、川床利用者だけでなく周辺地域の被災も想定されるので、地域の避難訓練と合わせて実施するのが効果的。地域のことを良く知らない外国人も想定して、安全対策を検討いただきたい。

○安全面に加え、集客の観点でも、ホームページの多言語化など、外国人の方にもPRできるような取組を検討いただければ。

○実際の災害時には、川床利用者だけでなく、滝道の利用者等、箕面公園内の他の利用者も避難することが想定される。川床事業者だけでなく、公園管理者とも連携しながら安全対策に取り組んでいただきたい。

○前回の事業評価の際の意見についての対応状況を教えてください。

●安全面については、リアルタイムの情報の参照が挙げられたので、情報収集の手段に気象庁のキキクルの活用を追加した。また、賑わい面については、テイクアウト方式を提案いただいたので、協議会の場で事業者と話している。実現には至っていないが、引き続き、検討したい。

- 前回の事業評価の際に、3箇所目の川床を検討する旨説明があったが、その検討状況を教えてほしい。
- 前回の事業評価以降の3年間は、コロナの影響により、新規事業者が現れる見込みがなかったため、3箇所目の公募は行っていない。今後の集客状況や新規事業者の参入意欲などを注視していきたい。
- 今の2箇所は高級路線なので、3箇所目を検討する際には、手軽に利用いただけるようなカジュアルな路線も検討しては。
- 審議の結果、箕面川床の事業継続は妥当である。

## ② 都市・地域再生等利用区域の変更について（狭山池）

- 事業スキーム図について、箕面川床の事例では、地元自治会や商工会議所等が箕面川床協議会に参画し、意見交換する場が設置されていたが、狭山池を核としたまちづくり協議会には、地元自治会や商工会が入っていない。地元自治会や商工会とどのように意見交換を行っているのか。
- 本協議会には、実際に事業を行う者のみ委員として参画しているが、協議会の開催時には、地元自治会や商工会にも出席いただき、意見をいただいている。協議会の頻度は決まっていないが、今年度は2回開催した。
- 地元自治会や商工会も含めて、賑わいづくりができるような体制の構築をお願いしたい。
- 今後、商業的利用を進めるのであれば、商工会も協議会に入った方がいいのではないかと。
- 商工会は、協議会の委員として参画していないが、協議会開催時にはオブザーバーとして助言をいただいている。
- 今回活用する建物は老朽化しているように見える。池の駅として人が集まる場所をめざすのであれば、景観にも配慮していただきたい。リニューアルの予定はないのか。
- 土地改良区の建屋については、施設管理の一環で、外観の塗り替えを検討していると聞いている。
- 都市・地域再生等利用区域の制度は、水辺に多くの方に来ていただくためにあるので、修景の検討が必要では。
- 建物の修景工事について、市や府から支援の予定はないのか。
- 美装化の観点での支援は難しいが、建物の補修工事と合わせて何かできないか大阪狭山市と調整していく。
- 池の駅の4つの機能を2つの建物に分けることになるので、建物間の連携が大切。池の外周は遊歩道で繋がっているので、片方に訪れた方がもう片方にも立ち寄りいただけるようなソフト連携を検討しては。
- 審議の結果、狭山池の都市・地域再生等利用区域の変更は妥当である。

## 【報告】

### 安治川右岸（船津橋下流）の現状報告について

- コロナが収束し、今後は、万博や対岸のサウスピア等の整備も予定されており、今のタイミングを逃すと事業の立て直しがより難しくなるので、令和6年度中に再開のめどをたてていただきたい。また、占用主体の福島区においても、当初の構想を念頭に、協議調整や進捗管理はしっかり行っていただきたい。
- 陸側からの集客は今後どのように見込んでいくのか。
- 背後地の公園を活用したざこばの朝市などの地域のイベントや、緑道側を視点場としたドローンショーも構想として考えているところ。陸側からも楽しめるような事業が展開できればと考えている。
- ざこばの朝市などのイベント時に、飲食を提供するようなことはできないのか。
- 台船上での飲食の提供にあたっては施設整備が必要となるが、福島区と事業者との協定期間が令和8年度に終了するので、投資については慎重に考えたいうえで、可能な範囲で賑わいづくりを検討できればと考えている。
- カフェ・レストランとして活用していた1号台船の今後の使用見込みは。
- 1号台船の建屋は、現在は、水上交通の安全監視用の事務所として試行的に使用しており、今後はドローンショーの発着施設としても供用予定。需要があれば、テイクアウト方式のような簡易な形での飲食の展開を検討していると事業者から聞いている。
- コロナ禍の影響等による苦労もあったと思う。次回の事業評価においては、事業継続を議論することになる。今後、事業者を変更される可能性もあると思うが、さらなる活性化を期待したい。